

	大分類	小分類	重点施策	KGI(成果指標)	KGI(基準値)	KGI(目標値)	現時点で考えられる 具体的な事業内容 (KPI設定を含む)	KPI(取り組み指標)	KPI(基準値)	KPI(目標値)	委員からの意見	意見を踏まえた対応	基本事業 (重点事業でない事業) 掲載	基本事業 (重点事業でない事業) 具体例示
10	産業経済	工業・商業	中小企業の経営力向上支援	市内中小企業を対象とする補助金の年間交付件数	22件	30件	・展示会等への出店経費を補助 ・デジタル技術の導入経費を補助 ・副業人材の活用に係る経費を補助 ・豊橋技科大が実施する教育プログラム受講料を補助	市内中小企業を対象とする補助金のチラシ配布枚数	0	1500枚	(補助金などの)記載が具体的すぎるのでは？	・重点施策の内容を、「市内中小企業が行う販路拡大やDX推進などの経営力向上に向けた取組に対して支援します」と改める。 ・KGI、KPIを変更する。	・商工会や金融機関と連携した情報の集約・提供 ・商工業振興の充実	・中小企業事業資金融資事業 ・企業立地促進事業 ・浜松湖西豊橋道路湖西IC周辺における工業用地開発検討
11			スモールビジネスの創業支援によるにぎわい創出	創業支援による出店者数(直近5年累計)	104事業者	140事業者	・創業相談窓口の開設 ・空き店舗等を活用して開業した事業者に開業経費を補助 ・特定創業支援等事業による支援	セミナー、相談会実施回数	0	累計60回	***	***		
14		農業・漁業	効率的かつ持続可能な農業の実現	一次産業従事者数 (認定農業者数＋浜名漁協正組合員数)	280人	280人以上	・経営体育成促進事業(担い手育成農地集積事業)等国庫補助等を活用した農地の再基盤整備 ・荒廃農地再生・集積促進事業費補助金による荒廃農地の再生 ・地域計画による農地中間管理事業を活用した農地集積 ・浜名湖地区水産振興協議会による水産資源の回復事業 ・栽培漁業振興事業費補助金によるクルマエビ等の放流	担い手への農地の集積・集約	50ヘクタール	100ヘクタール	***	***	・担い手確保 ・農畜産物のPR ・事業者等との連携 ・漁業者への支援 ・漁協への支援	・新規就農者育成総合対策事業費補助による新規就農者への支援 ・静岡県農業法人誘致推進連絡会への参画による法人誘致 ・農業振興協議会、畜産衛生対策協議会による農畜産物のPR ・ブリ丸、湖西ボークなど既存ブランドの認知度向上や、農畜産業者と飲食店事業者等とのマッチングのため、商工会等と連携 ・漁業近代化資金利子補給による漁業者等の設備導入支援 ・水産施設整備事業費補助による漁協施設の更新等への支援
15			地域の水産資源の回復と安定した供給					年間水揚げ高	10億3,932万円	11億5,000万円				
												特産品のブランド力認知度強化を図り販路拡大を進める施策を関連団体と一緒に進めるべき。		
16		産業人材の確保	人材確保支援	就職イベントへの参加者数	271人	400人	・高校生向け合同企業説明会の開催 ・大学生及び再就職者等を対象とした就職フェアの開催 ・高校生向けJOBフェアの開催	就職イベントの実施回数	4回	基準値以上	U・Iターンが見えない。	・重点的に取り組むことに「これらに取り組むことにより、学生や若者の地域定着とともに、U・Iターンによる人材の呼び込みを図ります。」を追加する。 ・KGI、KPIを変更する。	・就業希望者のニーズに合った支援、地域雇用の確保 ・モノづくりネットワークの構築、関係維持 ・企業力の向上支援、支援体制の強化	・ハローワークや県と連携した個別相談の実施 ・モノづくり推進事業
17			キャリア教育	企業見学・出張講座等の実施校数	9校	9校以上	・市内小中学校を対象とした企業見学のマッチング ・市内小中学校向けの出前講座のマッチング	キャリア教育協力企業数	累計64社	累計120社	・満足度や関心を持った児童・生徒の割合は、何をもって満足とするか等、成果指標とするにはあいまいであるように思います。 ・重点事業の内容の成果と考えるのであれば、「就職支援イベントや企業向けセミナーなどの数値(開催回数、参加企業数、参加者数など)」や「企業見学や出前講座などの現状数値(回数、校数、企業数など)」を使用した方が理解されやすいのではないのでしょうか。	・KGIを実施校数に変更する。		
18			多様な働き方の支援	セミナー参加者のうちの就業者数	8人	8人以上	・在宅ワークに関するセミナーを実施 ・ハローワークとの共催セミナーを実施	求職者向けセミナー等の開催回数	27回	30回	***	***		
19		観光振興	郷土愛を育む観光地域づくり	市民が国内外の友人に湖西市を訪れてもらいたいと思う割合(市民意識調査)	45.60%	55%	・海湖館とその周辺施設、道の駅潮見坂、観光トイレ等観光施設及び観光と親和性が高い文化財施設の持続可能な運営管理 ・湖西連峰ハイキングコース及び入り口等周辺の維持管理 ・SNS等を活用した観光資源の情報発信	湖西市公式観光Instagramへの投稿数	年82回	年85回以上	***	***	・地場産品を活用したふるさと納税の推進 ・体験型観光の推進 ・道の駅潮見坂の観光拠点としてのビルドアップ	・ふるさと納税現地決済の導入促進 ・ふるさと納税促進パンフレットの作成 ・対外的なブランディング・対外プロモーションを推進するため、浜松・浜名湖ツーリズムビューローと連携 ・湖西連峰の整備、トレッキング、サイクルツーリズム、ウォーターアクティビティなどの推進 ・指定管理者制度を含む今後の管理運営体系の研究
20			地域ブランド力によるプロモーション	市の観光公式ウェブサイトのページビュー数	591008ビュー	650000ビュー	・地元特産品や観光情報等PR方法の新たな発掘 ・地場産品を活用したふるさと納税の推進 ・観光案内所の効果及び実現可能性を検証するための実証実験 ・観光PR動画の作成及び市・観光振興組織での活用 ・観光振興組織が実施する集客イベント等の支援・協力 ・地域連携DMOとの連携強化	観光動画の作成	0	5本	観光については、湖西単独で進めるまでのポテンシャルはないと考える。浜名湖全体での取り組みを浜松市と一緒に進めるべき。また、観光客が「お金」を落としてくれるか疑問。	湖西市と浜松市から負担金の交付等実施している地域連携DMOとの連携強化を図り、浜名湖一帯での観光推進を行っていく。		
21			体験観光の強化	来訪者満足度(浜松・浜名湖ツーリズムビューロー調査)	94.90%	95%	・新居弁天地域観光利活用事業の推進(舟連・湖上遊覧) ・道の駅潮見坂の観光拠点のビルドアップ ・サイクルツーリズムにおける地域連携 ・「漁業」「農業」「畜産業」「モノづくり」の体験の商品化 ・景観を含めた産業観光の商品化	体験観光型商品に関する観光関係団体との打ち合わせ回数	0	10回以上	浜名湖沿岸自転車道の整備促進。	静岡県及び関係団体と、浜名湖岸の利活用について、協議する場を計画しており、その中で検討していく。		
28	育み・学文化	文化芸術の発表と鑑賞の場の提供	文化・芸術に週に1回以上触れた人の割合(市民意識調査)	96%	96%	・市民芸術祭の開催 ・文化協会事業、後援名義事業等の文化芸術事業の観覧PR ・地域住民のためのコンサート開催 ・アーツカウンシル事業参加団体支援 ・各学校による文化芸術鑑賞機会の設定	市民芸術祭の開催	5回	5回以上	市民の発表の場だけでなく、プロのコンサートや演劇を鑑賞できる場を・・・。	・アーツカウンシル事業や三井住友海上文化財団事業、学校での演劇鑑賞などを活用したプロの文化芸術鑑賞機会の提供を念頭に「重点的に取り組むこと」の欄に「質の高い発表と鑑賞の場を提供します」に改める。	・文化芸術活動の機会の充実 ・文化芸術活動のためのネットワークづくり ・文化財の保存 ・文化財の活用	・文化芸術に触れる機会の創出 ・文化芸術活動のためのネットワークづくり ・アーツカウンシル事業の推進、SPACの利用促進 ・文化財調査、指定文化財保存修理の支援、無形民俗文化財の支援、ボランティアガイドの育成 ・公開展示、パンフレット等での情報発信、学校教育や社会教育での教育活用、観光活用	
29		文化財の保存と活用	指定文化財・登録文化財の数	103個	107個	・文化財把握調査(掘り起こし) ・詳細調査(専門家による価値づけ) ・文化財保護審議会諮問 ・指定文化財保存のための修理助成 ・登録文化財制度の周知	文化財保存修理件数	0	1件	***	***			

	大分類	小分類	重点施策	KGI(成果指標)	KGI(基準値)	KGI(目標値)	現時点で考えられる 具体的な事業内容 (KPI設定を含む)	KPI(取り組み指標)	KPI(基準値)	KPI(目標値)	委員からの意見	意見を踏まえた対応	基本事業 (重点事業でない事業) 掲載	基本事業 (重点事業でない事業) 具体例示
57	行政経営	DX推進	情報化(DX)施策の総合的な企画、調整及び推進	DX推進計画個別計画進捗率	—	80%	・DX推進本部会議の開催 ・各課DXヒアリング実施 ・アドバイザー活用等による改善提案	DX推進本部会議の開催	年3回以上、参加率90%以上	年3回以上、参加率90%以上	***	***	・行政手続きのオンライン化・効率化の推進 ・職員のデジタルリテラシー向上と人材育成の仕組みづくり ・無線シンククライアント端末および無線LAN環境の整備 ・デジタルの利用の推進と利便性の向上	・オンライン手続きや電子申請を前提としたシステム導入・機能拡張 ・職員向け操作研修の定期開催とデジタルリテラシー普及啓発 ・アナログ規制(例:目視や対面限定、紙掲示等)の点検・見直し ・DX推進本部会議での進捗管理と方針決定 ・DX啓発研修や職員向けスキルアップ研修の実施 ・生成AIやICTに関する実践ワークショップの継続開催 ・デジタル専門人材資格取得支援制度の活用促進 ・若手職員・インターンシップ参加者へのスキル定着支援(OJT環境の整備) ・noteや庁内ポータルを活用した成功事例・ナレッジの発信 ・業務環境整備(端末・ネットワーク) ・会計年度任用職員を含む必要な職員への無線シンククライアント端末の整備 ・各施設特性に応じた無線LAN環境の整備
					—	80%		各課DXヒアリング実施率	100%	100%	***	***		
					—	80%		アドバイザー活用による改善提案数	5件	5件以上	***	***		
58		行政経営	情報システム利用技術向上、生成AI・RPAを活用した業務効率化推進	庁内での生成AI活用率	37%	84%以上	・生成AI活用研修実施 ・活用事例の庁内共有	年間の生成AI活用研修実施回数	2回	3回以上	***	***		
					37%	84%以上		活用事例の庁内共有件数(改善提案含む)	2件	5件以上	***	***		
60	行政経営	行政経営	公共施設再配置個別計画の進捗管理	公共施設総延べ床面積の縮減率	4.60%	5.2%	・個別計画の進捗状況を確認する。	縮減の進捗状況の確認・調査	1回	2回	***	***	・官民連携、官民共創の推進 ・移住定住の促進 ・行政経営の推進	・ソーシャルXを活用した逆プロポ ・首都圏、中京圏へのイベント出展 ・市内企業に対するPR
61			新庁舎建設の推進	新庁舎の建設進捗率	0	100%	・計画、設計、工事の受託業者と定期的な打合せを行い、進捗状況の確認と市の意向を反映させる。	計画、設計、工事の各段階での受託業者との打ち合わせ回数	12回	12回以上	行政経営で、市庁舎建設推進とあるが、事ある毎に財政が厳しいと言っている現状を考えれば、優先順位は当然低くすべき。昨年の市庁舎建設ワークショップでは「行かなくてもいい市役所」が唄われていた。DX化推進等を進めての実現を優先とし、既存設備の最大限活用が現状のベスト案と思う。	市庁舎は建設から50年が経過し、施設・設備の老朽化が進行している。窓口の集約、DX化推進により施設規模の合理化を図るとともに、他の事業と優先度を比較し、必要に応じてスケジュールの見直しを行う。	・市の魅力発信、湖西市出身者に対するプロモーション ・公共施設等包括管理業務 ・公共施設等の適正な管理・整備 ・市営住宅建設事業	・SNSを活用した広報 ・市公式キャラクターの運用管理 ・市営住宅長寿命化計画に基づき、施設の用途廃止及び改修工事を実施して、施設の維持管理を行う。 ・職員の能力向上と組織の活性化 ・納付書へのeL-QRの印字、管理代行制度の導入

その他全体的な意見

全体的に成果指標が大きすぎたり曖昧であると感じている 具体的な取り組みがわかるようにした方がよい	具体的な取り組み内容がわかるようにシートに追記しました。ストレッチ目標(チャレンジ目標)になるよう各課に再度見直しを伝え、成果指標も一部見直しました。
年度ごとの具体的なプロセスが見えにくい	実践計画は4年間で目指す姿を示し、具体的な年度ごとのプロセスは各個別計画や各事業を進める上で毎年見直しを行いながら管理していくように促します。